

こども発達支援室だより

2020.12



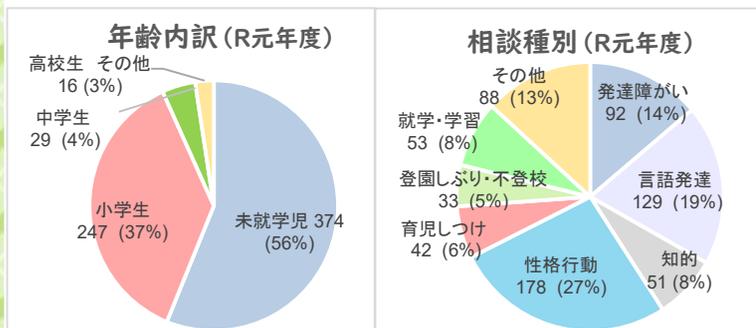
こども発達支援室では、子どもの発達・育ちの相談への対応、子どもの状態の理解を深め、発達や育ちを支える環境づくりに努めています。今回のたよりは、こども発達支援室の相談状況やパーソナルカルテ、子どもとの関わり方についてご紹介します。

「子どもをほめてあげて!」と言われることが多いと思いますが、そう言われても…と思われる方も多いのでは?

最近、怒ってばかり…と思ってしまいませんか?



R元年度の相談状況



相談内容

・子どもの発達に関する事で、日常生活での対応の仕方、学習面、対人関係など多岐にわたります。



相談のあるお子さんの年齢層

・就学前の幼児が約6割、小中学生が約4割程度となっています。



パーソナルカルテを活用してみよう!

◆パーソナルカルテって?

・発達をはじめとする支援の必要なお子さんが、安心して一貫した継続支援が受けられるよう、お子さんの状態や支援の情報をスムーズに引継ぐための情報をまとめたファイル。



◆いつ活用するといいの?

・進学など新しい環境に変わる、福祉サービスや新たに相談を受ける時など、子どもの状態を知ってもらう必要がある時に活用します。情報が引き継がれ、安心して支援を受けられることにつながります。

◆どんなことを書くの?

・子どものできることや得意・苦手なこと、支援経過などを書きます。関係書類(診断書や発達検査結果など)をはさむことも可能です。

*三重県はパーソナルファイルに改訂されています。(三重県版パーソナルファイルは、三重県教育委員会ホームページよりご覧下さい)



子どもとうまく関わるコツ ~ほめる~

保護者が子どもの言動に対して、何らかの反応をすることを「注目」と言います。子どもは大人からの注目をほしがります。褒められても(肯定的注目)叱られても(否定的注目)、子どもにとって注目を感じられることになります。注目が与えられると、その行動は繰り返される傾向があります。できるだけ肯定的な注目を与え、よりよい関係にしたいものです。肯定的な注目は、言葉で「すごいね」と言うだけではありません。下記を参考にしてみてください。

100%できるまで待たず、できたところ「25%」でほめましょう。

~子どもにとって 肯定的注目・ほめるになること~

1. ほめる(言葉で)
2. 励ます
3. その行動に気がついていることを知らせる
4. ほほえむ
5. 感謝する
6. 興味や関心を示す
7. 次の活動に誘う など

上手に座ってるね

ありがとう、助かったわ。

ブロックでロボットを作ったんだ。バナナも作ろうかな。

今度は～してみようか。



~パーソナルカルテを書いた親の声~

- ・子どもの状態を説明しやすくなった。
- ・書くことで親自身が整理できた。



お問い合わせ・相談は…下記まで

伊勢市こども発達支援室

(八日市場町13-1福祉健康センター3階)

TEL : 63-5444 FAX : 27-0058

E-mail : kodomohattatsu@city.ise.mie.jp

